

目標達成計画

事業所： GHいずみの里
 作成日： 平成 25年 8月 29日
 市町村受理日：平成 25年 9月 6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み 管理者・リーダーは会議の意義や内容を把握しているが、職員全員への周知が十分とは言えない。会議の意義や検討内容を職員間で共有し、さらなるサービス向上に繋げていく必要がある。	全体会議の席上、意義や目的を全職員へ伝え、周知を図って行く。全員で自己評価に取り組むようにして、振り返りと改善に向けての具体案の提起や実践に向けての話し合いを重ねサービス向上に繋げる。	運営推進会議開催後、直近の全体会議の議事・議題に乗せ、職員全員への周知を図るとともに、話し合われた内容をサービス向上に活かしていく。8/28開催、9月の全体会議にて報告・伝達。実践に活かしていくための話し合いを持つ。	2か月
2	35	災害対策 夜間想定避難訓練には、指示を出すリーダー及び応援職員や住民の役割を明確にした訓練の実施を期待します。また、職員全員のリスクに対する意識向上のため、防火訓練チェックシートの復活を期待します。	1. 職員の防火・防災意識の向上。 2. 日常のお付き合いの中からGHの理解を深め、いざという時に助けていただける協力体制を構築。「災害時要援護者避難支援」施設であることを町内会防	*防火チェックリストの復活で職員全員への意識付けとリスクに対する意識向上を図る。 *勤務シフトに夜勤帯のリーダーを明記し指示系統の明確化を図る。	1か月
3			災組織の中に位置づけて、町内会防災区域マップにも明記していただけるよう要請、災害時に備える。	*避難訓練の際は、各々の役割を理解し、その場で活かせるように臨場感あふれた訓練、演出で行う。 ・応援職員役：救出、避難誘導、未救出者の確認など夜勤職員との連携で助っ人への連絡、要請など	3か月
4				・近隣、住民役：安全な場所への誘導、避難後の見守り、軒先を借りる、救護など	
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。